



ゼロから話して、
未来を創る。

第0
SECTOR

ゼロセク・インキュベーションプログラム
第5期のご案内

ゼロセク・インキュベーションプログラムとは？

ゼロセク・インキュベーションプログラムは、官僚や自治体、企業等に所属する高い熱量を持った方々が、**人生をかけてやりたいこと**に向き合った上で、**セクターをまたいで**イノベーションに必要な**「知の探索」**を行い、**より良い未来のための事業/政策**を創造していくプログラムです

ご自身の内面に向き合い思考を整理していただくための**1on1メンタリング**、**新規事業のプロフェッショナルによる講演**など、参加者の皆様お一人おひとりと社会の未来を変えていくプログラムとなっております！

新しい政策・事業立案を生み出す有志団体「第0セクター」が主催し、官や民の連携による未来創造を支援する株式会社Publinkがプログラムを運営しています



運営会社代表ご紹介



梶井 誠一郎 かこい せいいちろう

株式会社Publink 代表取締役・官民共創HUB 事務局長

1982年生まれ

筑駒(教駒)、東京大学工学部卒業

経産省に2005～2011年在籍

国家公務員 I 種、理工1区分6位(1万人中)
経済成長戦略、内閣官房、研究開発課課長補佐、など

2011年～(株)ケイテックパートナーズ

数字を稼ぐ・背負う感覚を身につけるため、ゼロからプログラミングを
学びシステムで事業開始。2期で売上3000万円。

2013～2017年(株)Zpeer -ズピア

全国のペット獣医師の6割が登録する、獣医師限定の
Webメディア 共同創業者 CTO兼CFO

2018年～(株)Publink -パブリック

官民連携オープンイノベーション支援



政官民の共創を通じ、未来が豊かになると誰もが思える日本を実現する

現状

- ・いろいろなものが**硬直/分断**しており、組織を超えて未来について考えることが少ない
- ・個人や各組織がそれぞれ「**自前のできる範囲の理想**」を追求した結果が未来

理想

- ・**多様な個人/組織がともに**社会全体でのあるべき姿を考えることができる
- ・あるべき姿に対して、**組織を超えて共創**しあうことで、より良い未来を創造する



「未来のつくりかた」をアップデートする

Publinkの事業

未来をともに考える

キーパーソンを
見つける・育てる

キーパーソンを
つなぎ、共創する

政策を、戦略に変えるメディア
Publingual

組織の枠を超えて視野を広げ、事業/政策の種を見つける
ゼロセク・インキュベーションプログラム

課題設定から企画・マッチング・プロジェクトの進行まで一気通貫サポート
官公庁向け・民間企業向け コンサルティング

その他の運営メンバー

新規事業、内発的動機醸成、イベント、コミュニティのプロのメンバーが運営しています！



個人⇄組織、大企業⇄ベンチャーの
豊富な支援経験・知見

岡本 真梨子 Mariko Okamoto

合同会社にては 代表社員
あらゆる組織の「人」の課題を、心理学×経営×人事の
専門性を活かし支援。スタートアップから大企業まで
新規事業開発支援、人材育成、
プロジェクトマネジメント等実績多数



トライセクターの経験と
小さく確実に実現していく知見

横田 親 Itaru Yokota

小商い塾の塾長、
丹波市特任移住サポーターである傍ら、
オンラインで仏教を普及する「エア寺」、
オルタナティブ活動を行う地域での大学づくり
及びフリースクール支援など多岐に渡り活動している



イベント企画運営が
得意なミレニアル世代

阪上 結紀 Yuiki Sakagami

株式会社Publink
官民共創コンサルタント兼コミュニティマネージャー
Unipos株式会社で大企業向けカスタマーサクセスを経験した
後、副業先だったPublinkに転職。学生時代からイベント
運営に携わっている。本プログラムでは実務回りを担当。

本プログラムが提供するもの

プロによるワークとコーチングによる
内発的動機の磨き上げ

セクターを超えた新しい視点と新規事業 / 官民共創のプロによる
事業案のブラッシュアップ・スキルアップ

チームごとのワークや各種企画による
将来にわたって相談/連携できる仲間

プログラム(一部変更可能性もございます)

本プログラムでは、個人ワーク、スキルやマインドセットのインプット、チーム/ペアセッション等を通して、事業や政策の企画をブラッシュアップしていただきます。最終日には発表会もございます。

Day1、Day3、Day4は完全オンライン開催、Day2、Day5はリアルとオンラインのハイブリッド開催となります。

	Day1	Day2	Day3	Day4	Day5	フォローアップ
	1/14(日)	1/27(土)	2/4(日)	2/17(土)	3/2(土)	3月以降
13:00 17:00	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 参加者自己紹介 1stプレゼンテーション 	ペアワーク: プランのブラッシュアップ(対話型セッション)	講演: 官民共創のパターンとポイント 梶井 誠一郎	最終プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> フィードバックシートの納品 個社の状況・課題に応じたサポート(オプション)
	ワークショップ: 新規事業を実現できる人とは	ワークショップ: WILL-CAN-MUSTの棚卸し	講演: 新規事業開発のプロに聞く、「新規事業の極意」 守屋 実氏	ペアワーク: プランのブラッシュアップ(対話型セッション)		
	<ul style="list-style-type: none"> インキュベーションシートのレクチャー 個別相談 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者からのフィードバック 次回に向けての設計 	<ul style="list-style-type: none"> アクションプランの策定 シェアリング 	<ul style="list-style-type: none"> アクションプランの策定 シェアリング 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者・有識者からのフィードバック 今後の行動計画策定 全体総括 	

個社・個別メンタリング

内発的動機の磨き上げ

専門家によるインプット

内発的動機がなぜ重要なのか、WILL・CAN・MUST分析、内発的動機の例など、インプットを行います

強い動機がないとそもそも新規事業/政策は始まらない

**何を実現したいのか？
なぜそれを実現したいのか？**

WILL MUST CAN

したいこと
動機、欲求、志

しなければ
いけないこと
何を求められ
何をやるべきか

WILL MUST CAN

したいこと
動機、欲求、志

しなければ
いけないこと
何を求められ
何をやるべきか

各組織がバラバラに動くのではなく
個人一人ひとりが互いのWILLに共感し
組織の壁を越えて共創していく仕組みを創りたい

▼理由・背景

- ・150gでの誕生 当時の医療技術だと、生存率5割
- ・捨てた命、意味のあるものにしたと考える
- ・日本の未来を、みんなが当たり前のように「今より悪くなっていく」と考えているのが嫌だった
- ・省庁間の縦割り、省庁と自治体の縦割り、官と民の縦割り、あらゆる縦割りが日本の未来をより良くする邪魔をしていると気づく

内省

ワークシートを使い、それぞれの内発的動機について深堀りを行っていただきます

分類	質問	記入欄
自分	自分の人生に大きな影響を与えていると思う経験とその結果得た価値観を複数(感動した、心躍ったというポジティブなもの、苦しかったネガティブなこと、立ち直った経験等)	
自分	今までモチベーションが高かった時期とその理由	
自分	最終的にどんな自分になっていたか、どんな人に憧れるかとその理由	
自分	どんな社会や世界が理想だと思うか、もっとこんな風になつたらいいなと思うこと、その理由	
自分の外	※自分の外については身近な範囲でも、社会や世界のスケールでもOK 「ここはおかしい!」や「これは変えた!」と感じることとその理由	
自分の外	※自分の外については身近な範囲でも、社会や世界のスケールでもOK	
まとめ	自分は○○を成し遂げたい。なぜならば、○○だからだ。	

コーチ・参加者との対話

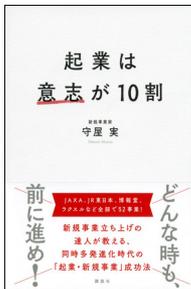
コーチや参加者同士での問いかけを通じて、さらに内省を深めていただきます



事業案のブラッシュアップ・スキルアップ①

新規事業・官民共創のプロによる講義を実施

新規事業・官民共創のプロによる講義を通して、新規事業や政策を考える際の心構えやHow toの両方を多面的に学んでいた
だき、事業や政策のアウトプット、その後の実行フェーズでのアクションに活かしていただきます



～新規事業開発のプロ中のプロ～
守屋 実 氏



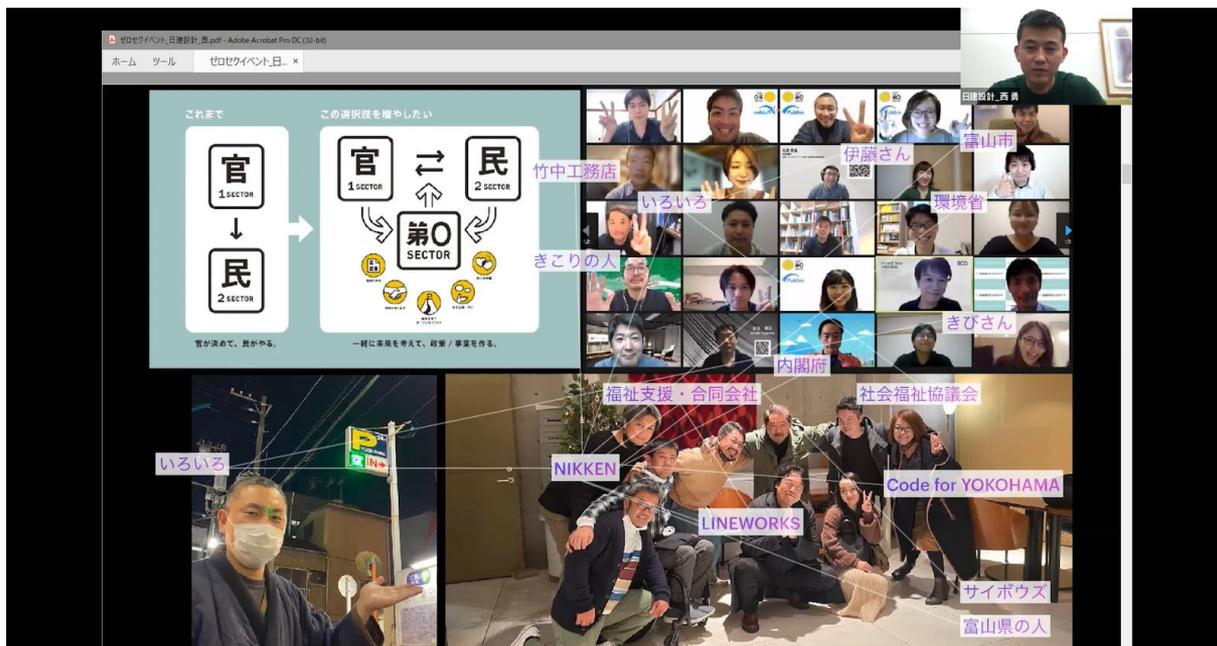
～政官民の共創のプロ～
梶井 誠一郎氏



※期により登壇者が異なる場合がございます

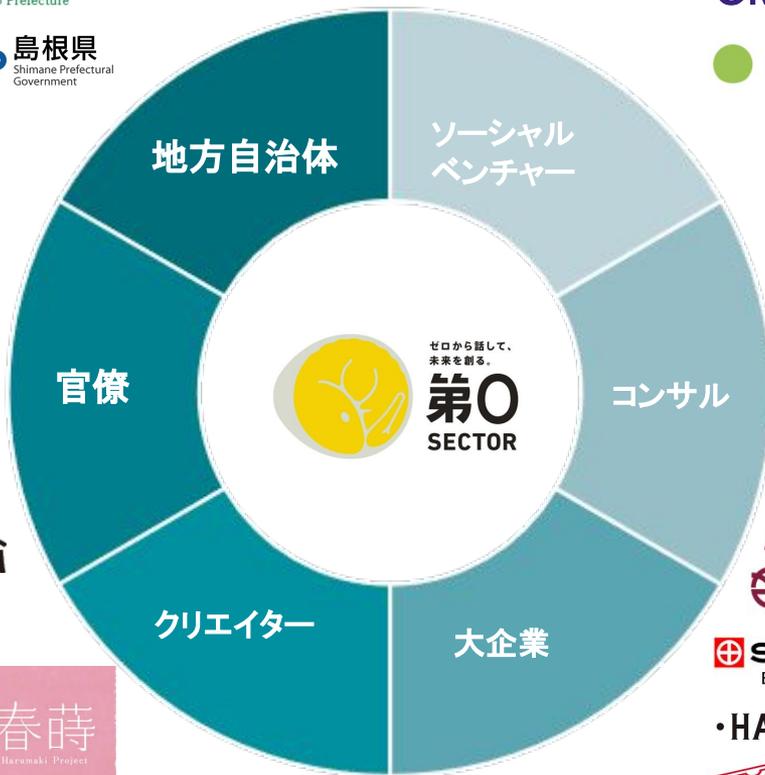
将来にわたって連携・相談できる仲間

プログラム中に事業/政策の企画に対して違うセクターに所属する参加者から新しい視点を得るだけでなく、プログラム後もいつでも相談できる、人を紹介しあうなど、卒業生同士がいつまでも仲間同士でいただくコミュニティにしていきたいと考えております。本プログラムではグループでの活動や1on1、懇親会等、参加者同士での交流する機会の創出ならびに、参加者同士での交流を積極的に促進しており、自治体メンバーを起点に、長野や富山、藤沢等に訪問する企画も生まれています。



【日建設計 西氏】まちの”How To”と”Want”を繋げるハブ「Social Future Center」より <https://publingual.jp/archives/59235>

多様な参加者(0期~4期より抜粋)



CRIACAO HOPE INC.

MATCHA RECIKA

Deloitte.
デロイト トーマツ

DENSO • PRODUCT'S •
TAKENAKA **NEC**

SHIMADZU NIKKEN
Excellence in Science EXPERIENCE, INTEGRATED

• HAKUHODO • **odakyu**

ORIX **住友商事** **AGC**
Enriching lives and the world

参加者満足度(10点満点中)

第0期

8.6

第1期

9.2

第2期

9.5

第3期

9.6

第4期

9.5

第0期～第4期 卒業生の声

内発的動機の磨き上げ

- ・「死んでもそれやりたいの？」という問いが刺さり、なぜ自分がやるのかに深く向き合うようになった(民間)
- ・本当に自分がやりたいことに気づくことができ、とにかくその後の **仕事も楽しくなった!** (官僚)
- ・自分の勉強量、スキル、フットワーク、**熱意** が重要であることに気づいた(民間)

事業案のブラッシュアップ・スキルアップ

- ・プログラム参加前と比べると、見違えるほど **ブラッシュアップ** されていた(民間側参加者の上長)
- ・新規事業の **提案の道筋** が見えた(民間)
- ・新規事業系の研修はどこか理想論だったり実業務に結びつかないことが多かったのですが、本研修ではまさに自分の業務を進めつつ、**プロフェッショナルの指導を受けつつ進めることができ**、他の研修とは一線を画しておりました(民間)

将来にわたって連携・相談できる仲間

- ・参加者や運営のつながりで、**数珠つなぎ**のように人脈が広がった(民間)
- ・国の機関の人が持つ **情報量とネットワーク量の多さ** に驚いた(民間)
- ・**同じ目標に向かって頑張る仲間** ができた(民間)
- ・自分のプロジェクトに **必要な省庁、自治体、まちづくり運営者とつながる** ことができた(民間)
- ・地域に来てもらったり、**グループ内外でつながり** ができたり、**プロジェクトが具体的に動かせそう** で、得るものめちやくちが多かったです! ありがとうございます(地方自治体)

参加者が立ち上げたプロジェクト/取組の事例

BabyTechLab小田原



テクノロジーも活用しながら子育て世代を地域で支える仕組みを模索すべく、経済産業省/小田原市等が連携し、子育て世代の移住者が増加しており、デジタル化によるまちづくりにも取り組んでいる小田原地域においてBabyTech事業者の実証と普及を促進するプロジェクト。令和4年3月までの期間で実証的に取組みを実施する予定。

チャレンジナガノ



長野県の市町村と企業間での新サービス開発や実証プロジェクトを支援し、最終的には新産業の創出、雇用の増加、付加価値の高い先進的ビジネスの創造を通じながら、新しい企業立地促進のモデルを目指すプロジェクト。2020年度に事業を開始し、飯田市・白馬村・辰野町等、合計8市町村で取組を開始している。

製造業革新 ～今治市～



造船、タオルなどの世界有数の製造業を有する今治市のものづくり企業を対象に、クリエイターと連携した新製品開発アイデアや、県外企業とのDX/脱炭素/サステナビリティなどの連携パートナーとのマッチングを実施。今治市の担当者がゼロセク0期に参加し、公募前のアイデア/企画をブラッシュアップ。

プログラムへのご参加に向けて

最高のスタートを切っていただくため、Day1までに下記の実施をお願いしております。

1. 参加者登録フォームへのご記入

別途ご案内させていただきます。

2. 事前面談の実施

面談では、自己紹介・扱いたいテーマ・テーマを推進するにあたってのハードル・本プログラムで得たいもの・つながりたい組織や人、などをヒアリングさせていただきます。

担当より別途ご案内を差し上げます。

3. 事前課題の提出

自己紹介シートや、企画のアウトプットなどをお願いしております。詳細は後日お知らせいたします。

4. 使用ツールのセッティング ※必要に応じ組織内での使用申請等お願いいたします

1. **Slack**: グループごとのディスカッションや情報共有、事務局からの連絡に使用いたします。後日招待リンクをお送りするので、そちらから登録をお願いいたします。
2. **Google各種ツール**: Googleドライブ(ファイル格納)、Googleスライド(資料作成)、Googleフォーム等使用いたします。使用可能なGoogleアカウント(メールアドレス)をご用意ください。

プログラム運営会社ご紹介



社名	株式会社 パブリンク	設立	2011年12月5日 (決算期 10月)
英字表記	Publink Inc.	所在地	〒100-0013 東京都千代田区霞が関1丁目4番1号 日土地ビル2F SENQ霞が関
代表取締役社長	梶井 誠一郎	URL	https://publink.biz/

事業内容

- 官民共創コンサルティング・コミュニティ・イベントWebメディア
- 行政の社会課題解決＋企業のビジネスを運動する事業価値の促進と運営管理
- 全省庁、自治体、企業、スタートアップ経営者、幹部、若手が加盟する複数のコミュニティを運営
- 全省庁、自治体、スタートアップの累計2000人が登録するコミュニティの人脈紹介・集客を支援

主要取引先

内閣府、文部科学省、経済産業省
日本土地建物株式会社、三井不動産株式会社、トランスコスモス株式会社
株式会社ボストン・コンサルティング・グループ
PwCコンサルティング合同会社、株式会社みらいワークス、リンカーズ株式会社
デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社
他(順不同)